

平成 25 ( 2013 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/5 )

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	マツダ ヒロシ 松 田 凡
学歴	昭和57年 3月 京都大学経済学部経済学科卒業 昭和63年 3月 京都大学大学院農学研究科（修士課程）農林経済学専攻修了 平成 6年 3月 京都大学大学院農学研究科（博士課程）農林経済学専攻単位取得満期退学				
学位	昭和63年 3月 農学修士（京都大学）				
専門分野	文化人類学、アフリカ地域研究				
専門資格					
所属学会	昭和60年 5月 日本アフリカ学会 平成 4年 3月 日本ナイル・エチオピア学会 平成 4年12月 日本文化人類学会 平成12年 4月 生態人類学会 平成17年 4月 地域農林経済学会 平成18年 8月 日本オーラル・ヒストリー学会				
受賞					
担当 授業科目	<b>学 部</b> 卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ、フィールドワーク実習AⅠ・AⅡ、フィールド調査法、フィールドデータ処理法、総合社会学入門Ⅰ・Ⅱ <hr/> <b>大学院</b> 文化人類学基礎研究法演習Ⅰ・Ⅱ、文化人類学研究法演習Ⅰ・Ⅱ、現代文化研究Ⅰ（経済と環境）、現代文化研究演習Ⅰ（経済と環境）				
論文指導	論文指導担当[主査]（卒論：4名）				
教育実績 (FD活動)					
その他の 教育実践 活動実績	1. 宇治市における環境地図グリーンマップの作成に関わる活動を学生とともに行った。 ・ 白川まちあるき（平成25年7月7日） 2. フィールドワーク実習の成果を学生とともに以下の機会発表した。 ・ 宇治橋通り商店街わんさかフェスタ（平成25年10月26日） ・ 本学指月祭（平成25年11月2, 3日） ・ 本学アジアアフリカ映画祭（平成25年12月21日） ・ 宇治まなびんぐ2014（平成26年2月8日）				
H25 年度 研究課題	<b>学部・大学院共通</b> 1. アフリカにおける農民経済と自然および国家の関係に関する経済人類学的研究 2. 地域における文化人類学の実践的、教育的応用に関する研究				
平成 二十五 (2013) 年度の 研究活動 の概要	課題1については、学会への参加、科学研究費補助金による国内研究会への参加、資料の収集などを行った。 課題2については、フィールドワーク実習および課外活動であるプロジェクト・ウオプルの活動に関連して、エチオピアや宇治において環境地図であるグリーンマップの作成とその発表を通じて、文化人類学的知識の実践的応用についての研究を行った。				

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (2/5)

平成二十五(2013)年度の主な研究成果等	(著書)
	(論文)
	(学会報告、学会活動) 学会活動： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本ナイル・エチオピア学会評議員「平19.4より」</li> <li>・ 日本ナイル・エチオピア学会副会長「平25.4より」</li> <li>・ 日本オーラル・ヒストリー学会理事「平21.4より」</li> <li>・ 日本アフリカ学会理事「平23.4より」</li> </ul>
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 1. 「2013年度 エチオピア フィールドワーク実習 報告書」、共編著、平成26年3月、京都文教大学総合社会学部文化人類学科、78p
	(調査活動) (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) 平成22年度-平成25年度 <p style="margin-left: 20px;">科学研究費補助金(基盤研究A・海外学術)「アフリカ・モラルエコノミーを基調とした農村発展に関する比較研究」(課題番号22255011、研究代表者:福井県立大学・学術教養センター・教授 杉村和彦)の研究分担者</p> <p>平成25年度</p> <p style="margin-left: 20px;">科学研究費補助金(基盤研究B)「NGO活動のつくりだす流動的社会空間についての文化人類学的研究～エチオピアを事例として」(課題番号25300049、研究代表者:大阪府立大学・第1学群 人文科学系・教授 宮脇幸生)の研究協力者</p>
(学内活動) 総合社会学部長、大学教学会議委員、大学運営会議委員、広報委員会委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・大学院委員、自己点検・評価 管理運営専門委員会委員、危機管理委員会委員、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員、人事委員会委員、入試委員会委員、海外学術研究助成委員会委員	
平成二十五(2013)年度 社会における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公益財団法人宇治市文化センター理事「平23.4より」</li> <li>・ 大学共同利用機関法人「国立民族学博物館」運営委員「平24.4より」</li> </ul>
	(NPO法人等の団体への参画) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人グローバル人材開発センター理事「平24.11より」</li> </ul>
	(その他) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 龍谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンター (LORC) 研究員 (人材開発に関する事業に参加「平24.4より」)</li> </ul>
平成二十一～二十四(2008～2012)年度の 主な研究成果等	(著書) 1. 「2009 プロジェクト・ウオプルとフー太郎の森基金」、単著、平成21年5月、東京新聞社、新妻香織著、『よみがえれフー太郎の森：エチオピアで希望を植えよう』(p. 123)
	(論文) 1. ‘The Economy of Affection Unites the Region: Bond-partnership in the Lower Omo Valley, Southwestern Ethiopia,’ in Kimambo, I.N.,G.Hyden, S.Maghimbi and K.Sugimura (eds.) <i>Contemporary Perspectives on African Moral Economy</i> , Dar es Salaam University Press, Dar es Salaam, 2008, pp.153-162. 2. 「劇場におけるアフリカの民族舞踊」、共著、平成23年6月、共著者：遠藤保子、立命館大学産業社会学会編、立命館産業社会論集第47巻第1号 (pp. 27-48) 3. 「劇場におけるアフリカの民族舞踊～ガーナの民族舞踊公演を事例として」(研究ノート)、共著、平成24年3月、共著者：遠藤保子・相原進、立命館大学産業社会学会編、立命館産業社会論集第47巻第4号 (pp. 139-157)

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (3/5)

(学会報告、学会活動)

学会発表:

1. 「同時代世界を生きる地域と学校～プロジェクト・ウオブルの試みと実践」、単独、平成22年4月、第19回日本ナイル・エチオピア学会公開シンポジウム「ナイル・エチオピアと多摩からく地域と教育>をみつめる」(シンポジスト)、明星大学日野校
2. 「『文化教育』の可視化と2つのGP」、単独、平成22年7月、第9回国際文化学会フォーラム(「国際文化学部」教育の役割と課題)(シンポジスト)、東海大学札幌キャンパス

研究会発表:

1. 「人はなぜ農牧に向かうのか～エチオピア西南部からの視点」、単独、平成22年10月、モラル・エコノミー研究会(下記の杉村科研22255011による研究会)、京都大学農学部
2. 「鶴見和子とカール・ポランニー～自然と地域の概念をめぐって」、単独、平成23年2月、鶴見和子研究会(下記の鶴飼科研20320019による研究会)、京都文教大学

学会活動:

- 平成19年 4月 日本ナイル・エチオピア学会評議員「現在に至る」  
平成20年 4月 日本アフリカ学会監査「平23.3まで」  
平成21年 4月 日本オーラル・ヒストリー学会理事「現在に至る」  
平成23年 4月 日本アフリカ学会理事「現在に至る」

その他:

1. 「国境を生きる文化～エチオピア西南部オモ川下流平原におけるムグジ人の武装化」(研究実践交流会「少数民族・先住民研究とオーラル・ヒストリー」の話題提供者)、単独、平成21年9月、日本オーラル・ヒストリー学会第7回大会、北星学園大学
2. 小中高大連携研究会「初等・中等教育現場の文化人類学:「ミュージアム活動」を通じた小中高大連携の可能性にむけて」(総合討論司会)、平成22年12月、京都文教大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

書評:

1. 「湖中真哉著『牧畜二重経済の人類学～ケニア・サンプルの民族誌的研究』、2006」、『文化人類学』no. 73-1、平成20年6月

事典:

1. 「ソマリア民主共和国」、共著(当該項目他44項目担当)、平成24年11月、朝倉書店、竹内啓一総編集、加藤博・島田周平編集、『世界地名大事典3(中東・アフリカ)』(pp. 561-563他)

エッセイなど:

1. 「朝メシ前の人類学・第4回・これって高いんでしょうか?」、単著、平成20年4月、国立民族学博物館監修、季刊民族学124号(pp. 58-63)
2. 「朝メシ前の人類学・第5回・子どもたちの眼って、どうしてあんなにキレイなんでしょうか?」、単著、平成20年7月、国立民族学博物館監修、季刊民族学125号(pp. 66-73)
3. 「朝メシ前の人類学・第6回・どうして神を信じないの?って聞かれて.....」、単著、平成21年1月、国立民族学博物館監修、季刊民族学127号(pp. 63-70)
4. 「朝メシ前の人類学・第7回・あれって、ホンモノの銃ですよ?」、単著、平成21年4月、国立民族学博物館監修、季刊民族学128号(pp. 71-78)
5. 「朝メシ前の人類学・第8回・私たちは、これからどうしたらいいんですか?」、単著、平成21年7月国立民族学博物館監修、季刊民族学129号(pp. 77-84)
6. 新刊紹介「末原達郎著『文化としての農業、文明としての食料』人文書館 2009」、単著、平成22年3月、アフリカ研究No.76(p. 69)
7. 「文化コーディネーターに託された未来」(連載「地域公共政策士」への視点5)、単著、平成22年12月、地域公共人材大学連携事業ニュースレター第6号
8. 「森に棲むナマズの力:ヒレナマズ」、共著、平成24年7月、丸善出版、月刊みんぱく編集部編、『食べられる生きものたち～世界の民族と食文化48』(pp. 24-25)

学術講演:

1. 「『現場主義』教育と実践人類学～文化人類学の再生のために」平成20年10月、北京・中央民族大学

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (4/5)

平成二十〇〜二十四 (2008〜2012) 年度の主な研究成果等

(調査活動)

平成20年 8月 エチオピア (科学研究費補助金課題番号20300213 : 後述)  
 平成21年 8月 エチオピア (科学研究費補助金課題番号20401046 : 後述)  
 平成22年 8月 エチオピア北部ラリベラ (科学研究費補助金課題番号20300213 : 後述)  
 エスクスタ (アムハラ人の民族舞踊) とアシェンディエといわれる祭りに関する現地調査  
 平成24年 7月 まちづくりに関する調査 (大学院生と共に)、於 : 郡上八幡  
 平成24年 8月 「アフリカ・モラル・エコノミーの視圏 ―その源流・変容・未来に関する論点の総合化のための基礎的研究」 (福井県立大学特別研究費)、於 : タンザニア  
 平成24年8月・平成25年1月 グリーンマップ作成の基礎調査 (学生と共に)、於 : エチオピア、宇治

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

平成20年度-平成23年度  
 科学研究費補助金 (基盤研究B・一般) 「モーシオンキャプチャを利用したアフリカの舞踊に関する総合的研究」 (課題番号20300213, 研究代表者 : 立命館大学・産業社会学部・教授 遠藤保子) の連携研究者  
 平成20年度-平成22年度  
 科学研究費補助金 (基盤研究A・海外学術) 「アフリカ在来知の生成とそのポジティブな実践に関する地域研究」 (課題番号19251003, 研究代表者 : 京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授 重田真義) の研究協力者  
 平成20年度-平成22年度  
 科学研究費補助金 (基盤研究B・一般) 「『普通の人の哲学』と『知識人の思想』の葛藤をめぐる戦後思想史 ―鶴見和子文庫を開く」 (課題番号20320019, 研究代表者 : 京都文教大学・人間学部・准教授 鶴飼正樹) の研究分担者  
 平成21年度-平成23年度  
 科学研究費補助金 (基盤研究B・海外学術) 「開発と国家支配 ―連邦制国家エチオピアにおける開発エージェントと国家権力の相克」 (課題番号20401046, 研究代表者 : 大阪府立大学・人間社会学部・教授 宮脇幸生) による研究分担者  
 平成22年度-平成25年度  
 科学研究費補助金 (基盤研究A・海外学術) 「アフリカ・モラル・エコノミーを基調とした農村発展に関する比較研究」 (課題番号22255011、研究代表者 : 福井県立大学・教授 杉村和彦) の研究分担者  
 平成24年度  
 福井県立大学特別研究費 「アフリカ・モラル・エコノミーの視圏 ―その源流・変容・未来に関する論点の総合化のための基礎的研究」 (研究代表者 : 福井県立大学・学術教養センター・教授 杉村和彦) 研究分担者

(学内活動)

平成20年 4月 文化人類学科長 「平24.3まで」  
 大学教学会議委員 「現在に至る」  
 大学運営会議委員 「現在に至る」  
 将来構想会議 「平21.3まで」  
 広報委員会委員 「現在に至る」  
 平成20年 4月 自己点検・評価委員会委員 「現在に至る」  
 自己点検・評価 管理運営専門委員会委員 「現在に至る」  
 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員 「平24.3まで」  
 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員 「平24.3まで」  
 危機管理委員会委員 「現在に至る」  
 FD委員会委員 「平21.3まで」  
 人事委員会委員 「現在に至る」

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (5/5)

<p>平成二十〜二十四 主な研究成果等 (2008〜2012) 年度の</p>	<p>(学内活動 つづき)</p> <p>平成20年 4月 入試委員会委員「現在に至る」 特別補助申請委員会委員「平22.3まで」 特色GP委員会委員「平23.3まで」 学部人事委員会委員「平22.3まで」 学科将来構想委員会委員「平22.3まで」</p> <p>平成21年 4月 教育GP委員会委員「平23.3まで」</p> <p>平成22年 4月 文化人類学研究科長「平23.3まで」 将来構想会議委員「平23.3まで」 自己点検・大学院委員「現在に至る」</p> <p>平成24年 4月 総合社会学部長「平26.3まで」 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「現在に至る」 FD委員会委員「平25.3まで」</p>
<p>平成二十〜二十四 (2008〜2012) 年度の社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成19年度 宇治市帰国外国人児童生徒受入促進連絡協議会委員「平24.3まで」</p> <p>平成20年度 外務省NGO連携無償資金協力によるエチオピアでの小学校建設事業</p> <p>平成21年 8月 平成21年度教員免許状更新講習「フィールドワーク教育の新たな可能性と教材作成」講師、於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り</p> <p>平成22年11月 平成22年度教員免許状更新講習「校外学習に活かすフィールドワーク」講師、「同時代世界を生きる地域と学校～プロジェクト・ウオプルというフィールドワーク」、於：京都文教大学</p> <p>平成23年 4月 公益財団法人宇治市文化センター理事「現在に至る」</p> <p>平成23年 8月 平成23年度教員免許状更新講習「校外学習に活かすフィールドワーク」講師、「同時代世界を生きる地域と学校～プロジェクト・ウオプルというフィールドワーク」、於：京都文教大学</p> <p>平成24年 4月 大学共同利用機関法人「国立民族学博物館」運営委員「現在に至る」</p> <p>平成24年 8月 平成24年度教員免許状更新講習講師「校外学習に活かすフィールドワーク」、於：京都文教大学</p> <p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成19年度 国際交流基金国内公演助成事業によるタンザニア「チビテ舞踊団」の日本公演のプロデュース</p> <p>平成23年度 NPO法人「フー太郎の森基金」の京都支部として活動</p> <p>平成24年11月 NPO法人グローバル人材開発センター理事「現在に至る」</p> <p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成23年 1月 京都文教小学校において、エチオピア関連民俗資料の移動ミュージアムを実施した。</p> <p>平成24年 9月 上宮高等学校・修学旅行フィールドワーク教員研修講師、「京都文教大学におけるフィールドワーク教育プロジェクト」、於：同校</p> <p>平成25年 2月 国際理解教育授業、「私たちにもできる国際協力 ～飛び出せ、世界のフィールドへ!」、於：京都文教短期大学附属小学校</p> <p>(その他)</p> <p>平成21年10月 第1回まちづくりシンポジウム「地域(まち)づくりのデザイン:市民・大学・行政「協働のまちづくり」をめざして」(パネリスト)、於：キャンパスプラザ京都</p> <p>平成22年12月 第2回まちづくりシンポジウム「ともに生きる地域(まち)づくり:現場から多文化社会を考える」(趣旨説明)、於：キャンパスプラザ京都</p> <p>平成23年10月 アゾルオ・ガーナ民族舞踊団宇治公演のコーディネーターとして事務局を担当、於：宇治市文化センター</p> <p>平成24年 4月 龍谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンター(LORC) 研究員(人材開発に関する事業に参加「現在に至る」)</p>